

EAST KANAGAWA

ワイズ

湘南の気候・風土・地域性を知り尽くした
設計・施工のノウハウは地元のビルダーならではの。
独自の建材も開発し、オリジナリティを追求する

PROFILE

ワイズのこだわりは妥協しない家づくり。担当の設計者が納得できないプランは何度でも検討を重ねる。打ち合わせでは細かな要望を聞き出し、プランに反映。要望ひとつひとつについて採用時のメリット・デメリットを伝えてお互いに納得のいくまで話し合いをしている。具体的にイメージするため、工事中の現場内で打ち合わせをすることも。外壁材・キッチン・階段・シャッターなど、オリジナル商品も豊富に揃え、住宅の質の向上に努めている。

DATA

社名/ワイズ
代表/山本康彦
住所/〒253-0021 神奈川県茅ヶ崎市浜竹3-4-64
☎0467・88・3903
年間建築棟数/新築10棟
社員数/5名
平均坪単価/54.7万円
建築地域/湘南地域を中心に神奈川県全域
設立/1993年7月
定休日/水曜、第1・3火曜
アフターメンテナンスの対応
・建主からの連絡があればそのつど対応。特に台風などの自然災害、緊急時には迅速に対応する

代表のコメント

当社は“湘南”と呼ばれている地域をベースに活動しています。私自身の地元でもあり、愛着のある地域に家づくりという面から貢献できることとてもうれしく思います。豊かな気候と風土に根ざした住まいを提供していきます。



左はワイズのシンボルマーク。会社設立時に代表の山本さんがデザインしたものだ。ワイズの建てる住宅の多くには、建主からの要望でこのマークが外壁に掲げられている。



海と江ノ島を見下ろす ウィークエンドハウス

神奈川県・鎌倉市 Nさんの家

家族構成/夫45歳 妻42歳 長女16歳 長男14歳
本体工事費/2910万円



上右/道路面から階段を上がると、このポーチが出迎えてくれる。表札とポストを組み込んだ造作もオリジナルのデザインだ 上左/1階はタイル貼り。真っ白な内装でスタイリッシュにまとめられた。大きな開口部が設けられ、まるで屋外にいるかのような開放感を味わうことができる 下/南側のデッキから見た外観。ジャグジーの壁は LDK からの視線をさりげなく遮る



JR 辻堂駅にもほど近いワイズの社屋。内部はカフェや美容院を思わせるようなモダンインテリアでまとめられている



都心を離れ、週末に憩う。
海と酒と時間を楽しむ家

鎌倉駅から江ノ電に乗って十数分。海沿いの駅からはゆったりと広がる相模湾の景観が広がる。

明るい陽光と潮風の香り、波の音。建主のNさんは、学生時代からヨットが趣味。このあたりの海にはよく来ていたのだという。

今でも休みが取れば仲間とともに訪れるとあって、最初はマンションを購入し、都内の自宅から週末別荘として通うつもりでした。それが何の巡り合わせか、海を見下ろす敷地にたどり着くことに。見事なオーシャンビューの前に、Nさんはここにウィークエンドハウスを建てることを決断。

依頼先の選定でポイントになったのは、傾斜している敷地をどのように有効活用するか、ということだ。Nさんは、南の海側にデッキテラスを張り出すことを希望していた。

そこで選ばれたのが、湘南をベイスに住宅を供給しているビルダー、ワイズ。傾斜地、海沿いの敷地での建築実績も数多い。通常の工務店であれば外注するような造成・基礎などの工事も自社で施工できるため、敷地全体を視野に入れたプランニングが可能になる。南側には足場を架けて張り出し

たウッドデッキを設け、ジャグジーとシャワーを設置。北側には屋上から延長するように屋外バーカウンターを造作。いずれも普通なら建築に使えないような法面（切土や盛土によりつくられた人工の斜面のこと）の擁壁部分を生活空間の一部として取り込んでいる。

住居部分では、各室とも海に向けて大きく開口部を取った。建物の中央部で角度がつけられているのは、日光の差し込み具合や風の向き、眺望の見え方などを考慮してのことだ。

1階はカウンター付きのキッチンとダイニングが連続するワンルーム空間がメイン。その隣にはトイレ、洗面、バスが一体になったサニタリーが配置された。

2階は中央の和風の部屋を挟んで、夫妻の寝室と2つの子どもの室が振り分けられた。それぞれ家族の好みに合わせた内装で趣の異なる空間に仕上がっている。

屋上には前述のオープンバーがしつらえられ、花火大会の特等席に。「ダイニングではワイン、和室では日本酒、屋上ではビールかな。仲間たちとどう過ごしたいかということを設計時にイメージしました」とNさん。この家は理想の非日常空間。雑事に追われる日々を忘れ、時間の流れを楽しむことができそうだ。



江ノ島を正面に見る2階の和室。設計に携ったワイズ代表の山本康彦さんは、現場の足場から視界を確認しながら窓の位置を調整したという。1階とは対照的な落ち着いた空間に。「いちばん好きな部屋ですね」(Nさん)。机も杉板で造作された

✓CHECK! デザイン

部屋ごとに違う内装を違和感なくまとめる

趣の異なるインテリアを楽しめるN邸。家全体でちぐはぐにならないよう、内装材の色や素材、造作のモチーフなどに少しずつ共通項を持たせる設計面での配慮が施された。部屋間を移動すると違和感なく気分も切り替わる。



👍 MY FAVORITE

サニタリーはトイレ、洗面、浴室がひと続きの空間に仕上げられた。海の景色が美しく切り取られており、屋外の開放感を満喫しながら、リラックスした時間を過ごせる場所になっている。



上/白でまとめた1階のLDK。キャビネットの扉には鏡面タイプを入れた。室内に差し込む日の光が明るく反射する。キッチンには人造大理石カウンターの造作を組み合わせ、すっきりとした仕上がり。下/ダイニングでは複数の窓から海を眺めることができる。「ビーチにも近いので、テーブルと椅子を持ち出してワインを楽しんだことも」(妻)。IKEAで見つけた赤いシャンデリアが鮮やかなアクセントに

右／敷地北側の擁壁部分には屋上から延長させたテラスを設置。サビに強いアルミの造作でパーカウインターを据え付けた左／屋上からは周囲の景観を見回すことができる。「花火大会の時にはみんなでここに集まります」(Nさん) 下／傾斜地にあるN邸。ウッドデッキが張り出しているのがわかる



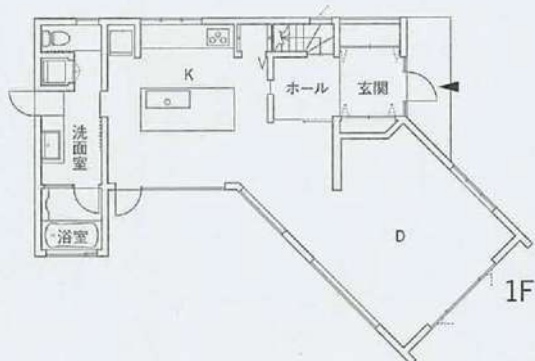
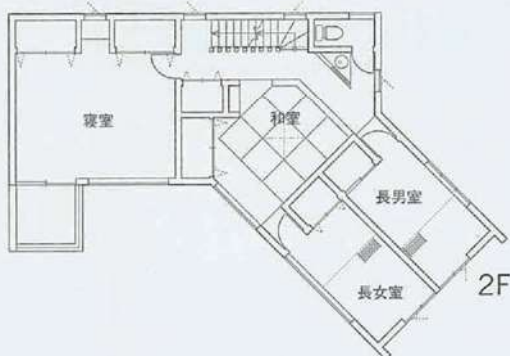
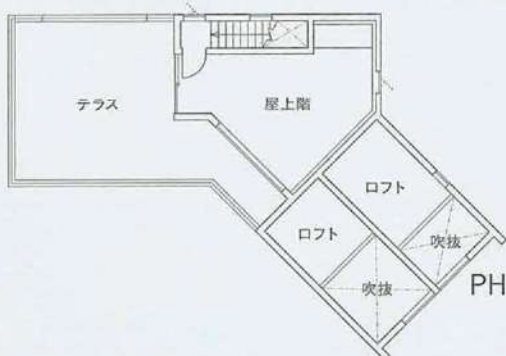
✓CHECK! アウトドア

周囲の環境を取り込む

海や山など自然環境に恵まれた湘南で活動しているだけに、ワズはアウトドアスペースの生かし方に多彩なノウハウを持っている。素人目には擁壁にしか見えない傾斜部分の敷地も、デッキテラスや屋上の延長として有効利用することができた。



上／2階の西側にある夫妻の寝室。妻の要望でクラシカルなスタイルに。ともに海を愛するNさん夫妻らしく、ブルーがインテリアのベースになっている 下／2階の東南にある長女の部屋。壁の羽目板は一枚ずつ張られたもの。カジュアルなインテリアにまとめられた。隣り合った長男の部屋と同様にロフトが設けられている。各室とも別々の内装で個性を演出



DATA

敷地面積／294.30㎡(89.18坪)
延床面積／139.10㎡(42.15坪)
1階／69.55㎡(21.08坪)
2階／66.24㎡(20.07坪)
屋上階／3.31㎡(1.00坪)
用途地域／第1種低層住居専用地域
建ぺい率／40%
容積率／80%
構造／木造軸組工法
本体工事費／2910万円
竣工／2009年9月

INSTRUMENTS

キッチン／オリジナル
窓・サッシ／システム
LDの照明器具／オーデリック、IKEA

撮影／後藤徹雄
取材・文／渡辺圭彦

